

まちづくり会報

平成27年7月発行 No.1

宮前まちづくり協議会

平素は、宮前まちづくり協議会の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの会報で26年度の特別事業と27年度の事業計画を報告させていただきます。

1. 26年度特別事業報告

(1) 第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会

松阪市分科会市内(43)協議会の中から、宮前まちづくり協議会が松阪市分科会担当地として選ばれました。平成26年11月8、9日に全国より研修会に参加された方の内、5県の参加者及び県、市の担当者など約20名の参加者があり、下記のような地域づくりの研修を行いました。



宮協実行委員会メンバー

一日目 平成26年11月8日(土)

- イ. 珍布峠ウォーキング
- ロ. 餅つき体験(飯高駅工房)
- ハ. 飯高駅の事業研修及び「いたかの湯」体験
- ニ. 夕食交流会(宮前まちづくり会館にて、飯Ne!!(イイネ)等による手作り料理)
- ホ. 夜なべ談義(つつじの里荒滝にて、赤桶・宮前・下滝野の若い代表も参加)

二日目 平成26年11月9日(日)

- イ. 意見交換会(つつじの里荒滝)
- ロ. 餅まき体験(飯高駅)
- ハ. 昼食交流会(飯高茶屋)
- ニ. 松阪駅にて解散



松阪市参加メンバー

後日参加者から、若い人たちの活動、飯高駅の経営、また宮前まちづくり協議会の地域づくりに対し、良い評価をいただきました。

(2) 宮前まちづくり計画の作成(地域計画)

- イ. 地域計画の性格について(市の方針)
まちづくりの基本計画として、まちづくりの方向性を内外に示すもの
 - ①地域の課題 ②地域の将来像 ③具体的な事案
- ロ. 地域と行政とで「協働のまちづくり」を推進するもの
- ハ. 市役所の内部の働き
全職員に対する「協働のまちづくり研修」、所属長と係長級職員を対象に「地域計画研修」を実施します。

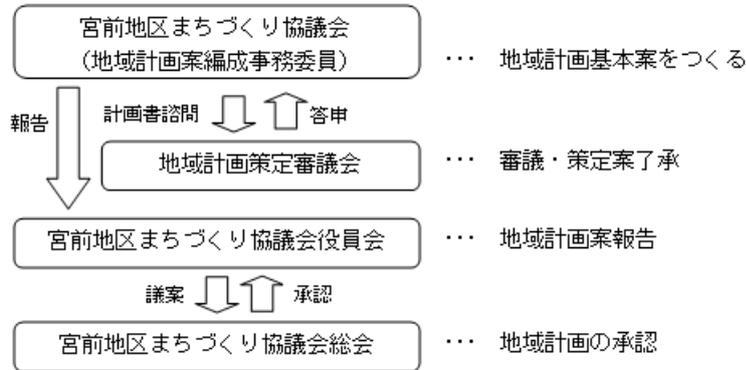


6月1日 総会

この様な状況の基、宮前まちづくり協議会では次のような体制で地域計画を作成いたしました。
 (平成27年度総会(自治会長、班長、各種団体代表出席)6月1日に承認されました。)

Ⅵ. 地域計画の進め方

地域福祉計画(平成21年8月)策定時に集約した地域住民の意見や要望を参考にして、地域計画案編成委員が地域づくりの目標や基本方針を定め、各部会と調整して具体的な施策を決定しました。
 その後、宮前まちづくり協議会の理事会の代表者からなる地域計画策定審議会に諮り、答申をされました。



地域計画の一例として、「宮前まちづくり計画」P.9の防災について抜粋し、掲載します。

3. 安全で安心して暮らせるまち(防災部会)(青少年部会)(健康部会)

施策名 事業名	事業内容	主体	スパン	予定 時期	備考
(1) 地域防災連携の強化					
① 自主防災組織強化事業	自主防災組織の強化を図り、防災活動マニュアルを見直す。	協働	短期	H27～ (継続)	市・自治会等
② 防災マップ更新事業	危険区域等の点検を行い、防災マップを更新作成し各戸に配布する。	協働	中期	H30～ (継続)	市・自治会等
③ 大災害地域対応計画策定事業	大災害発生に備え、地区の役割分担(連絡連携プレー)を明確にし、周知啓発を行う。	協働	短期	H27～ (新規)	市・自治会等

※「宮前まちづくり計画」をご覧になりたい方は、事務局にお申し出ください。

2. 27年度事業について(平成27年6月1日 総会にて承認)

(1) 組織体制

27年度組織図

総 会				部 会			
代議員	30名	(各地区班長)		自治部会	部長	大谷	洋一
理事	27名	(各種団体代表)		防災部会	部長	中村	武司
役員	8名			観光部会	部長	淵上	和俊
会長	田中	羚兒		福祉部会	部長	向坂	文一
副会長	城	孝士		文化部会	部長	尾鍋	哲也
〃	片浦	清五		青少年育成部会	部長	中西	幹夫
〃	野呂	久嗣		イベント部会	部長	小林	正樹
事務局長	向坂	文一	次長 尾鍋 哲也	会館部会	館長	野呂	義文
会計長	大谷	洋一	次長 野呂 義文				
会計監査	2名						
	滝野	利美	高橋 泰弘				

(2) 活動方針

宮前まちづくり協議会活動方針として、住み良い町、活気ある町を目指し活動します。

1. 地域計画策定

まちづくりの基本計画として、地域計画を策定（地域の課題、地域の資源を把握し、地域の将来像、課題解決等を検討）し、住み良い町、活気のあるまちづくりの基として、宮前まちづくり計画を策定いたしましたので、今後これに基づき必要な事項を行政に働きかけ協働すると共に、地域住民により計画の内容を充実させていくこととする。

2. 防災対策

安心なまちづくりとして、今年度実施される地域連携防災訓練（飯高、飯南）実施協議により、災害時の広域連携対策（飯高、飯南）の体制を行政と共に確立いたします。

3. 街道観光開発による地域振興

飯高駅を拠点として、旧和歌山街道を街道観光開発（至波瀬山林舎迄）すると共に、珍布峠ルートガイドボランティアによる活動により、ウォーキングされる人が多くなっている（26年約5千人）。このことを更に盛り上げるため、27年度市元気応援事業に、飯高駅に自転車を設置しサイクリング観光事業を行う事を応募し、このことにより集客を計り地域振興策とする。

4. 地域活動の啓発

宮前まちづくり協議会事務局に事務員を配置し、地域住民への広報活動を充実すると共に住民全体でのまちづくり活動を啓発する。

(3) 事業計画

1. 自治部会

地域振興調査事業	地域計画策定に伴い、地域振興策について先進地等の調査を行う
広報活動事業	機関紙の発行等広報活動を行う。
掲示板、防犯灯事業	自治会で施行する整備事業を支援する。

2. 防災部会

防災活動事業	自主防災部会と協議会により防災マップ等の整備を行う。
--------	----------------------------

3. 観光部会

地域観光開発事業	観光先進地等の調査を行い、計画、策定を行う。
観光事業	ガイドボランティア等の研修を行い、案内人等の充実を計る。

4. 福祉部会

福祉会解散に伴い、福祉会で執行されていたふれあい親睦事業等を行う。

高齢者特別事業	各自治会、老人会等と合同で敬老事業を行う。
ふれあい親睦事業	小中学校等各団体の活動支援を行う。
福祉啓発活動事業	福祉広報活動を行う。
子育て支援事業	ママさんグループと共に子育て支援を行う。
住民健康増進活動事業	住民珍布峠ウォーキングを行う。

5. 文化部会

住民文化活動事業	公民館と合同で地域文化活動を行う。
公民館活動事業	公民館活動の支援を行う。

6. 青少年部会

青少年育成事業	} P T Aと合同で活動支援を行う。
青少年イベント事業	

7. イベント部会

宮前フェスティバル事業 実行委員会を設け事業を行う。

8. 会館部会

会館管理運営事業 会館の維持管理運営を行う。

9. 特別部会

飯高火葬場管理運営事業 飯高町4地区で委員会を構成する。

10. 事務事業

今年度より専任事務員により業務を行う。
会館運営管理及び一般事務、事業調査等を行う。

3. お知らせ、その他

(1) 第1回宮前住民珍布峠健康ウォーキング実施！

平成27年6月14日（日）

宮前住民による珍布峠健康ウォーキングを行いました。

9時 飯高茶屋前集合

9時～ 市保健担当 杉田主査指導による
準備体操

9時半 飯高駅出発

11時～11時半 飯高駅着



準備体操の様子

参加人数 82名 （6月1日の総会時各班長に参加者招集依頼）

世話人 まちづくり本部役員、ガイドボランティア

ウォーキングされた結果をアンケートにより情報収集し、今後のコース整備計画の資料とさせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

(2) 宮前まちづくり会館会議室に放送設備を設置

葬儀等にもご使用いただけるよう、放送設備を設置いたしました。室外にもスピーカーを取り付けましたので便利になりました。

(3) 葬儀用祭壇整備（御洗濯）

6月8～9日に葬儀用祭壇の御洗濯をしていただき、非常にきれいになりました。

福祉部からのお知らせ(お礼)

次の方々より、亡くなられたご家族様の葬儀における香典返しの一部として福祉部にご寄付賜りました。

・中野 順平様（赤桶）

・久保 昭子様（赤桶）

・角谷 貢様（野々口）

・北垣外 誠一様（赤桶）



ありがとう



亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますと共に、皆様方の温かいお心を大切に有意義に活用させていただきます。ありがとうございました。